



竹中 秀夫 議員

公共施設のあり方

Q 庁舎一本化の考えは。

A 多くの方々の意見を拝聴し議論していきたい。

近江商人は「三方よし」と言うが、私は「未来よし」を加えた「四方よし」を考えている。その「未来」について尋ねる

問 まず、今後の人口推計について、5年後・10年後、20年後を示されたい。

答 (町長) 次のとおり。

●人口推計
5年後 (2025年).....21,398人
10年後 (2030年).....21,632人
20年後 (2040年).....21,633人
●予算規模 ※平成29年9月時点
5ヵ年の計画は行っている。10年・20年後は社会情勢の変化等に鑑み行っていない。
平成31年度(2019年).....115億3千万円
平成32年度(2020年).....95億9千万円
平成33年度(2021年).....99億2千万円
平成34年度(2022年).....95億6千万円

公共施設のあり方について

問 本町は合併後、分庁方式をとっており、少なからず無駄が生じていると考えるが、庁舎一本化の考えはないか。

答 (町長) 合併協定書において「当分の間」分庁により、両庁舎の有効活用を図るとされている。

「当分の間」とは、「2町がまったく1町として新しい住民感情ができて・・・」とされており、今後、多くの方々の

問 町内各学校・園の建築年度と今後の増改築の予定は。

答 (町長) ※各幼・小・中の建築年度・増改築年度の説明あり(紙面の関係で省略) 今後の増改築予定は、愛知中学校大規模増改築工事を平成31年度からの着工に向け、設計協議・財源確保を進めている。

問 旧愛知川警察署は、購入後活用せず放置されている。どのような活用の計画をされているのか。



2つにまたがる役場庁舎

意見を拝聴し議論していきたい。

歳出のランニングコストについて

問 合併以来、歳出を抑え職員数の減員を考えて、町有施設の管理運営を指定管理にできたが、固定的コストには変わりない。指定管理施設の年間歳出を尋ねる。

答 (町長) 現在、16協定・25施設で、総額2億2,931万7千円となっている。

問 街道交流館および旧郡役所のランニングコストを問う。

答 (町長) 街道交流館は、指定管理料1年目36,650千円、2~5年目が各27,910千円で、5年間合計148,290千円となる。

旧郡役所の活用方法は、工事完了後に建物の内覧会を開催し、広く町民の意見を反映したものとしていく。管理運営方法は、町の負担が過大とならないように抑制する仕組みが必要で、あらゆる手法を検討していく。

議会活動日誌



5/18 国道8号東近江区間整備促進期成同盟会総会 (議長・総務産建副委員長出席)



5/21 国際交流協会総会 (議長出席)



6/6 人権教育推進協議会総会 (議長出席)



6/8 部落解放・人権政策確立要求愛知郡実行委員会総会 (議長出席)



6/14 青少年育成町民会議総会 (議長出席)



6/17 消防ポンプ操法大会 (議長出席)

平成30年度町村議会

議長・副議長研修会報告

議長 高橋 正夫

5月28日(月)、東京国際フォーラムにおいて、平成30年度町村議会議長・副議長研修会が開催された。滋賀県の6町は、いずれも議長が出席し、今回の研修とあわせて、日ごろの議会活動の意見交換を行った。

今回のテーマは、「これからの町村議会を考える」と題したもので、「議員報酬のあり方」「議員のなり手不足」を中心としたものであった。全国的に「議員のなり手不足」は大きな課題である。そこには、議会の魅力の衰退・議員活動の貧弱性・地域力の低下などがあるとのことであった。一方、議員活動の充実を重点においた場合、議員報酬の関係も、なり手不足の一因であるとも考えられる。当町の場合、現在、議員定数と同数の議員数ではあるが、議会の魅力発信、議員活動の充実、地域との連携など

平成30年度 町村議会議長・副議長研修会



町村議会議長・副議長研修